

坂祝町財政状況

平成24年度決算

平成25年度上半期補正予算

平成25年12月

坂 祝 町

平成 24 年度 坂祝町の財政状況

1 平成 24 年度一般会計決算の状況

① 決算規模

平成 24 年度における、当町の一般会計の決算規模は、歳入 3,316,956 千円（前年度 3,050,359 千円）歳出 3,076,410 千円（前年度 2,763,113 千円）となり、歳入歳出差引額は 240,546 千円となりました。

※一般会計の決算状況は、平成 24 年度地方財政状況調査の数値に基づいて作成しています。

② 決算収支

平成 24 年度における当町の一般会計決算収支の状況は、第 1 表のとおりです。

当町の実質収支（歳入歳出差引額から繰越明許等のための翌年度へ繰越すべき財源を控除した額）は、143,345 千円で前年度に比べ 50,296 千円（対前年比 54.1%増）増加し、平成 24 年度決算において黒字決算となりました。これらは一般財源として翌年度へ繰越されます。また、実質公債費比率（18%を超えると協議制から許可制へ移行、25%を超えると起債に対して制限される場合がある）は、11.1%（対前年比 0.3 ポイント減）と前年度に比べ下落し、依然低い数値で推移しています。

第 1 表

（単位：千円）

歳 入 総 額	3,316,956
歳 出 総 額	3,076,410
歳 入 歳 出 差 引 額	240,546
翌年度に繰越すべき財源	97,201
実 質 収 支	143,345
単 年 度 収 支	50,296
積 立 金	2,622
繰 上 償 還 金	0
積 立 金 取 崩 額	100,000
実 質 単 年 度 収 支	△ 47,082

③ 歳 入

歳入については、第 1 図及び別表 1-1、1-2 のとおりです。

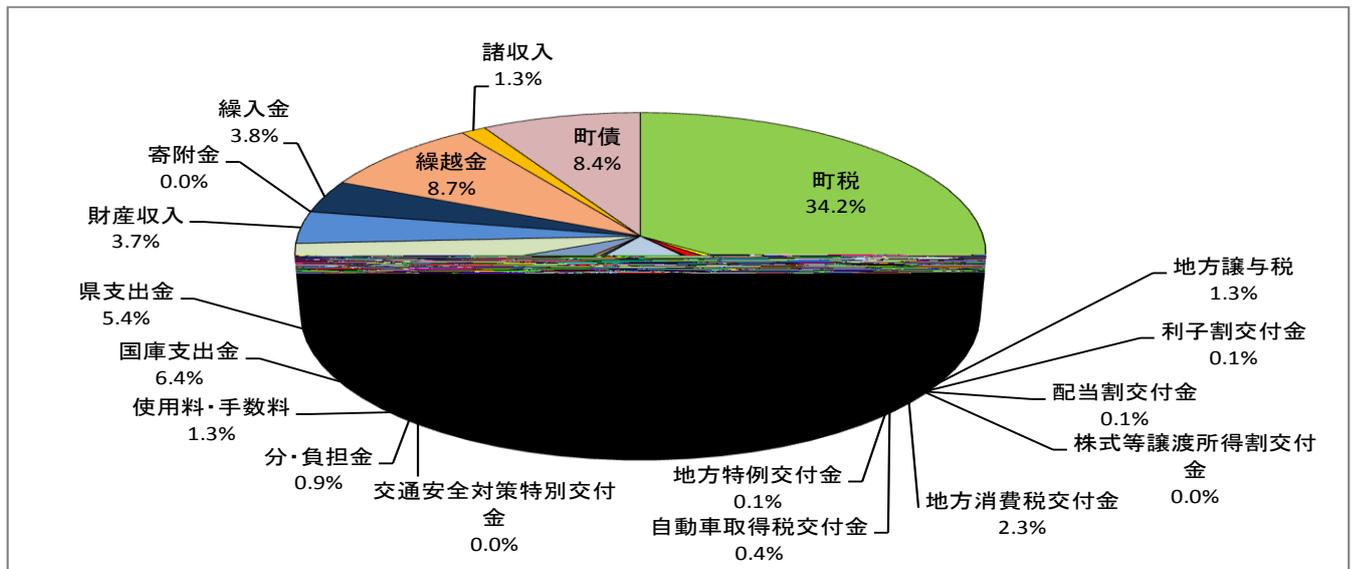
歳入総額は、3,316,956 千円で前年度（3,050,359 千円）に比べて 266,597 千円（対前年比 8.7%増）増加しました。

第 1 図 歳入決算構成比のとおり歳入の主な内訳は、町税 1,135,091 千円（構成比 34.2%）、地方交付税 717,487 千円（21.6%）、国・県支出金 389,702 千円（11.7%）、繰越金 287,246 千円（8.7%）、町債 278,400 千円（8.4%）となりました。

主な増減理由としては、町税及び地方交付税の収入済額が前年度に対し 96,227 千円の減となりましたが、平成 23 年度の国の第 3 次補正予算に関連した繰越事業の財源として国庫支出金、繰越金、町債が増加したことにより、前年度歳入を 266,597 千円上回りました。

第1図 平成24年度歳入決算構成比

(単位：%)



④歳出

歳出の決算については、第2図及び別表1-3のとおりです。

歳出の総額は3,076,410千円で、前年度(2,763,113千円)に比べ313,297千円(対前年比11.3%増)の増額になりました。

第2図のとおり目的別歳出の状況をみますと、当町においては総務費、民生費、土木費、教育費の部門の構成比が全体の約7割を占めています。

総務費においては、東館駐車場整備など工事費の大きな伸びがありましたが、基金積立金が減額となったことで前年度(590,789千円)に比べて8.6%の減少となりました。

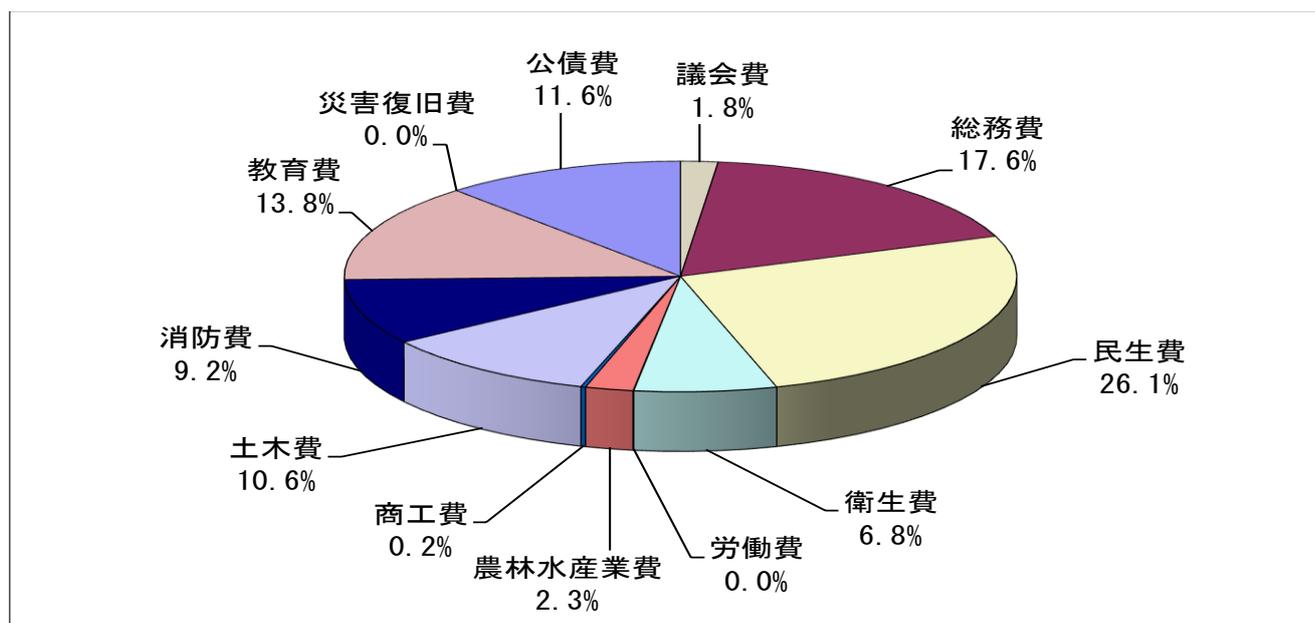
土木費では、道路整備等事業のほか、平成23年度からの繰越事業として大針第一踏切歩道設置工事を行い、前年度(210,600千円)に比べて54.1%の増加となりました。

消防費では、防災力強化策として避難所施設のガラス飛散防止措置や消防ポンプ車の購入のほか、平成23年度からの繰越事業として防災行政無線デジタル化工事を行い、前年度(144,655千円)に比べて96.0%の増加となりました。

教育費においても町民グラウンド雨水対策、学校施設等の改修などの工事費が伸び、前年度(356,856千円)に比べて19.2%の増加となりました。

第2図 平成24年度目的別歳出決算構成比

(単位：%)



歳出の主な性質別内訳をみますと、義務的経費（人件費、扶助費及び公債費の合計）は1,373,477千円で、前年度に比べて15,224千円（対前年度比1.1%増）の増額となりました。

一方、任意的経費のうち普通建設事業費は616,315千円で前年度比250.2%の増加となりました。増額の主な内容としては、平成23年度からの繰越事業の防災行政無線デジタル化工事や、大針第一踏切歩道設置工事のほか、東館駐車場用地購入及び駐車場整備工事費などがあげられます。

次に財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、86.2%で前年度（83.9%）に比べて2.3ポイント上昇しました。この理由としては、社会保障費などの義務的経費の上昇に加え、収入面で町税、交付税等の経常的一般財源額の減額により比率の上昇につながりました。比率の上昇は、新規事業に充てるための財源圧迫につながるため、今後も85%を上回らないよう歳入の確保に力を注ぐとともに無駄を省いた事業の推進をしていきます。

⑤将来にわたる財政負担

平成24年度以前に公共事業等の財源として発行された町債現在高は、「別表1-6 町債現在高の状況」に示すとおりであり、平成24年度末では2,625,906千円となり、前年度末現在高(2,653,653千円)に比べて27,747千円（対前年比1.0%減）減少しました。

その要因としては、今年度の新規借入額が元本償還金を下回ったことによるものです。また、今後の見通しとして、元利償還金のピークは平成25年度を予定しており、以降は町債による元利償還金の返済額も減少し、財政負担は軽減される見込みです。

2 平成 24 年度特別会計決算の状況

平成 24 年度特別会計（会計数 5 会計）の決算額は、第 2 表及び別表 1-8 のとおりです。

第 2 表 特別会計決算の状況

（単位：千円）

会 計 名	最終予算額	決 算 額		
		歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険特別会計	919,552	938,484	846,202	92,282
農業集落排水事業特別会計	47,362	45,708	42,556	3,152
公共下水道事業特別会計	191,382	191,400	187,882	3,518
介護保険特別会計	477,369	466,811	451,593	15,218
後期高齢者医療特別会計	60,030	56,932	55,634	1,298
特 別 会 計 合 計	1,695,695	1,699,335	1,583,867	115,468

（注）この資料は、平成 24 年度決算資料に基づくものです。

国民健康保険事業の決算については、予算総額 919,552 千円に対して、歳入総額 938,484 千円、歳出総額 846,202 千円で、92,282 千円の繰越しとなりました。前年度繰越金 73,733 千円を除く単年度収支は 18,549 千円の黒字ですが、翌年度清算される療養給付費等負担金及び療養給付費交付金等については、合計で 24,355 千円の超過交付（返還予定）となりました。これらの返還予定となる金額を差し引き、基金積立金 40,030 千円を加えた実質的な単年度収支は 34,223 千円となります。

医療費については年々増加傾向にあり、平成 25 年度ではジェネリック医薬品の差額通知を発送することを計画しており、増加する医療費の抑制を図っていきます。受診状況を全体的に見ると、1 人当たりで一般被保険者 13.2 回（前年 13.1 回）、退職被保険者等は 18.5 回（前年 17.5 回）と一般被保険者、退職被保険者ともに増加しています。今後も疾病予防・早期発見・早期治療の推進をより一層図るため、特定検診・特定保健指導等の保健事業を強化していきます。

農業集落排水事業は、平成 7 年度までに予定した計画事業が終了し、現在は維持管理型の会計となっています。農業集落排水事業特別会計決算については、予算総額 47,362 千円に対し、歳入総額 45,708 千円、歳出総額 42,556 千円、差引額 3,152 千円の繰越しとなりました。農業集落排水事業の現状は、加入戸数 568 戸（対前年比 23 戸増）、加入者数 2,473 人（対前年比 257 人増）で加入率は 83.8%（対前年比 8.7%増）となっています。

公共下水道事業は、当町にとって住民の良好な生活環境づくりと公共用水域の水質保全を図るための重要な事業です。現在、下水道区域面積 289ha、処理人口 5,730 人の事業認可を受け、平成 24 年度末までに約 251.1ha（計画面積に対して 86.8%）の整備を行ない、普及率は 96.5%となっています。公共下水道事業特別会計決算については、予算総額 191,382 千円に対し、歳入総額 191,400 千円、歳出総額 187,882 千円、差引額 3,518 千円の繰越しとなりました。

介護保険事業の現状として、当町における介護保険の第1号被保険者（65歳以上高齢者）は平成25年3月末現在1,721人（20.4%）、そのうち要介護（支援）認定者は、第1号被保険者で275人、第2号被保険者は11人で合わせて286人となりました。サービス利用者については、居宅介護（介護予防）サービス利用者157人（対前年比8.3%増）、地域密着型（介護予防）サービス利用者21人（対前年比4.5%減）、施設サービス利用者38人（対前年比0.0%）、サービス未利用者70人となっています。介護保険特別会計決算は、予算総額477,369千円に対して、歳入総額466,811千円、歳出総額451,593千円、差引額15,218千円の繰越しとなりました。

後期高齢者医療制度は、岐阜県後期高齢者医療広域連合が保険者として運営を行っております。町が町内の被保険者から保険料を徴収し、広域連合に納付する業務を行っており、この特別会計は、その徴収及び納付に関する事業費が主な内容となっています。決算については、予算総額60,030千円に対し、歳入総額56,932千円、歳出総額55,634千円、差引額1,298千円の繰越しとなりました。

後期高齢者医療特別会計の特徴として、保険料収入及び一般会計繰入金が歳入の95.60%ほどを占め、それに対する岐阜県後期高齢者医療広域連合への保険料分の納付金及びその他負担金が歳出の93.79%以上を占めており、その他の支出は会計の維持・管理のための総務費及び被保険者の健康管理・増進のための保健事業費となっています。被保険者への給付については岐阜県後期高齢者医療広域連合が取りまとめて行なっています。

平成 25 年度予算の状況

(1) 補正の状況

平成 25 年度予算の補正状況及び執行状況は、別表 2-1、2-2 のとおりです。

① 一般会計（繰越明許費を含む）

一般会計の補正は、歳入において次の補正を行ないました。町税においては過年度の固定資産税の一括納付等による増額とたばこ税の増額分（22,107 千円）、そのほかに普通交付税算定額確定に伴う地方交付税の増額（32,735 千円）、基金の統廃合による基金繰入金などの増額（593,958 千円）、前年度繰越額の確定に伴う繰越金の増額（68,345 千円）、町債の増額（95,900 千円）などを行ない、平成 25 年度 9 月定例会までに総額 969,303 千円を増額補正しました。

歳出増額の主な内容としては、総務費で基金の統廃合に伴う新基金への積み替えなどで 575,376 千円、土木費で用地購入や改良工事など 73,571 千円、消防費で防災行政無線デジタル化工事費など 116,415 千円、教育費では国のエコ・パイロットモデル事業の認可を受け小学校に太陽光発電システムを設置する工事など 65,170 千円をそれぞれ追加予算計上しました。そのほか災害復旧費として降雨による水路の破損に対応するため 3,000 千円増額しています。国県の補正予算等の財源を活用しながら当初予算への計上を見送ったものや緊急性の高い事業などを中心として総額 969,303 千円を増額し、平成 25 年度予算総額を 3,880,303 千円としました。

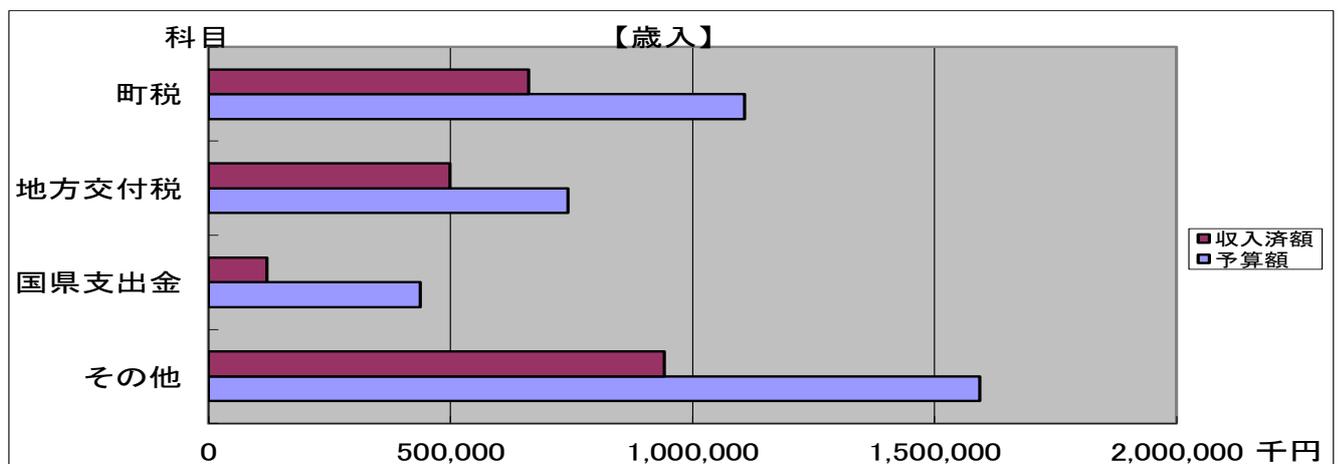
・執行状況（9 月末現在）

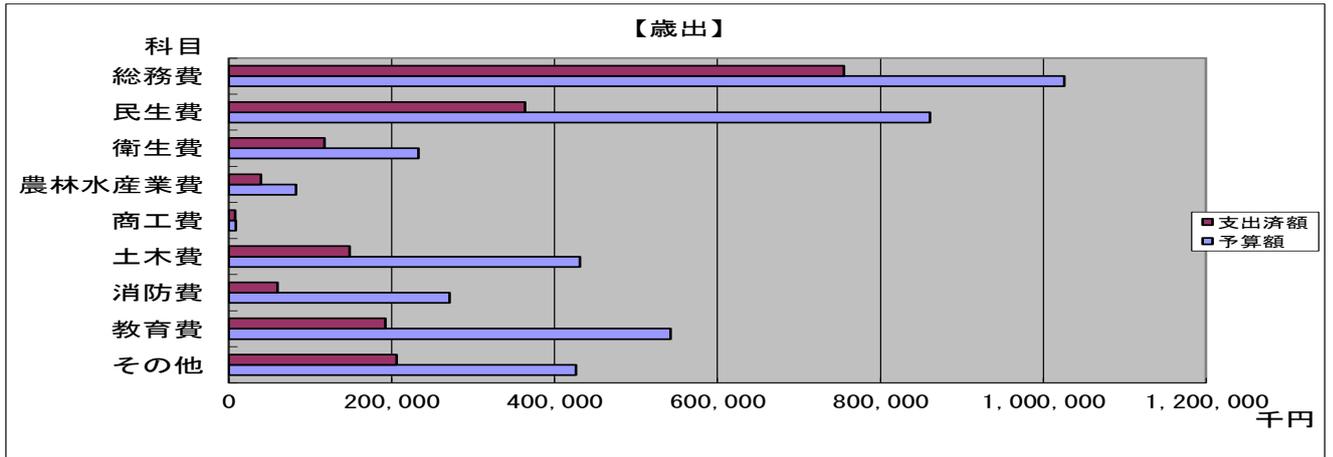
平成 25 年度一般会計の執行状況は、第 3 図及び別表 2-1 のとおりです。

歳入では、平成 25 年 9 月末で収入済額 2,220,959 千円となっており、予算総額 3,880,303 千円（前年度からの繰越を含む）に対して 57.2%で前年度（前年同期 47.6%）に比べ 9.6 ポイント上回っています。

歳出では、支出済額 1,891,759 千円であり、予算に対して 48.8%で前年度（前年同期 37.9%）に比べ 10.9 ポイント上回っています。

第 3 図





② 特別会計

特別会計の補正は、9月定例会までに総額 91,228 千円を増額しました。歳入においてはそれぞれの特別会計の繰越金確定に伴う増額補正を行なっています。

歳出においては国民健康保険・介護保険会計の繰越額確定に伴う基金積立てのほか、各特別会計において年度精算に伴う諸支出金の増額や一般会計への繰出金などの追加補正を行なっています。

・執行状況 (9月末現在)

平成 25 年度特別会計の執行状況は、第 4 図及び別表 2-2 のとおりです。

第 4 図

